

令和4年度 第5次総合計画施策評価シート【年度末用】

担当部署	土木課	政策調整課	
------	-----	-------	--

基本目標	4 みんなで“活かす”～住み続けられる・魅力あるまちづくり～
施策	17 道路・公共交通

事業の内容	具体的な事業結果	事業の実効性※1	事業の達成度※2
1 幹線道路の整備	(土木課)橋梁長寿命化修繕計画と道路舗装修繕計画に基づき、主要町道に架かる橋梁の修繕工事と舗装整備を行い、道路施設の維持管理に要する費用の平準化と縮減を図った。	A	B
2 生活道路の整備	(土木課)快適な生活空間の創出を図るため、人と車の安全通行を踏まえた道路整備が必要であることから、地区等の要望に基づき実情に考慮した道路整備を行った。また、国道・県道の整備に併せて、周辺的生活道路における区画線の設置などの交通安全対策を行った。	A	A
3 公共交通の充実	(政策調整課) 令和4年10月より、新たな公共交通「チョイソコふそう」の実証運行を開始した。	A	A
4			
5			
6			

めざそう値・指標名	指標の定義	基準値(H28)	実績値				
		目標値(R04)	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
1 町道側溝整備延長	平成30年度以降に新設する雨水・生活排水に機能する側溝の整備延長(m)	-	753	810	704	582	776
		3,500	○	○	○	×	○
2			↑5か年で3,500mを目標値としているので、年間700mであれば達成していると考え				
3							
4							

評価を踏まえた来年度以降の課題
・橋梁長寿命化修繕計画ならびに道路舗装修繕計画に基づき、予防的修繕工事を行うことで、事業費の縮減と平準化を図ることができた。今後は、限られた予算の中で、緊急性と重要性に鑑み、より効果的に交通安全施設設置、舗装修繕工事、側溝修繕工事等を行うべき箇所を選定していく必要がある。 ・令和5年9月までの実証運行結果を効果検証し、本格運行の開始へとつなげる。

評価を踏まえた来年度以降の改善策
・橋梁の点検等を定期的 to 実施し、適切な維持管理を行っていく。また、生活道路における整備については、安全安心のまちづくりに配慮した交通安全施設の整備を図っていく。 ・令和5年10月より、「チョイソコふそう」の本格運行を開始する。

※1 事業の実効性 A・・・適切(100%) B・・・おおむね適切(60%) C・・・やや不適切(30%) D・・・要改善(0%)

※2 事業の達成度 A・・・達成(100%) B・・・おおむね達成(60%) C・・・一部達成(30%) D・・・未達成(10%)